SINKO

Instruction Manual
取扱説明書

ワゴン（ベタ棚2段・3段／パンチング棚2段・3段）

●このたびは、製品をお買いあげいただきまして
ありがとうございました。
●製品を安全に正しく使用していただくために、
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読み
になり充分に理解してください。
●お読みになったあとはいつも手元において
ご使用ください。

Index

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」・「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例

⚠	△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。
⊘	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は一般的な禁止）が描かれています。
!	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容(左図の場合は一般的な指示)が描かれています。

⚠警告	
上乗り禁止	●製品の上に乗らないこと ケガの原因になります。

⚠注意	
過積載禁止	●棚に物を載せ過ぎないこと 耐荷重の範囲を超える積載は、製品破損や積載物落下によるケガの原因になります。(2ページの「耐荷重について」参照)
改造禁止	●不当な改造をしないこと 不当な改造や指定以外の部品使用は製品破損等によるケガの原因になります。
高温低温禁止	●高温、低温になる物のそばに置かないこと やけどや凍傷、樹脂部品の変形・損傷の原因になります。
専門業者	●製品の組立はお買い上げ店または専門業者に依頼すること ご自分で製品の組立をされ不備があると、製品の転倒や積載物落下などの原因になります。
軍手着用	●組立、清掃の時には必ず軍手を着用すること 素手で作業をすると、ケガの原因になります。
水平に設置	●丈夫で平らな所で、棚面が水平になるように使用すること 傾いていると積載物が落下して、ケガの原因になります。

お使いになる前に

- 製品がお手元に届きましたら、型式、寸法、仕様などがご注文通りのものかご確認ください。
- 構成パーツ・付属品およびオプションの欠品はないかご確認ください。
- 輸送中の破損箇所等がないか点検してください。

お願い

- お取り扱いの際には、製品を傷つけたり、破損したりしないように充分ご注意ください。
- 雨や水のかかる場所に製品を放置しないようにしてください。
- 酸性の液体、塩分、洗剤原液が付着しないようにしてください。
- 潮風や海水のあたる場所には設置しないでください。
- 製品の汚れはすぐに拭き取ってください。放置するとサビの原因になります。

表面保護フィルムについて

- 製品表面（主要部分）には、透明の「表面保護フィルム」が貼られています。
- 「表面保護フィルム」は、製品のご使用前に必ず剥がしてください。(長期間たつと剥がれにくくなります)
- 製造過程で「表面保護フィルム」に治具跡（シワ等）が残る場合がありますが、製品には影響ありません。

組み立てに際して

- 組立作業はできるだけ広くて平坦な場所で行なってください。
- 床面に毛布や段ボール等を敷いて、製品を傷つけないよう保護してください。

耐荷重について

⚠ 注意

過積載禁止

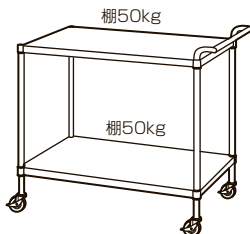
●棚に物を載せ過ぎないこと

耐荷重の範囲を超える積載は、製品破損や積載物落下によるケガの原因になります。

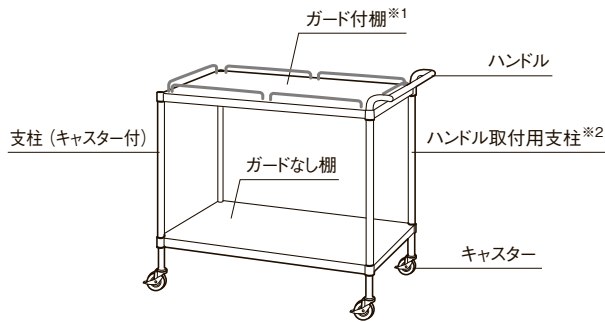
※耐荷重の数値は、すべて製品の自重も含みます。
※耐荷重の数値は、諸条件により異なる場合があります。
※耐荷重の数値は、均等な荷重で静止した状態での数値です。
※組立式の製品は、正しく組み立てが行われている場合の数値です。

- 太文字の数値は総耐荷重（製品全体の荷重量の上限）を示します。
- 細文字の数値は部分耐荷重（特定部分の荷重量の上限）を示します。
- 部分耐荷重は**“荷重量の合計が総耐荷重を超えない”**事が条件です。

総耐荷重 80kg

棚50kg
棚50kg

- 棚1段あたりの部分耐荷重は50kgです。

各部の名前

ガード付棚※1
ハンドル
支柱（キャスター付）
ハンドル取付用支柱※2
ガードなし棚
キャスター

※1：ガード付棚はガードが取り付けられた状態で出荷されます。
※2：ハンドル取付用支柱はビス／スプリングワッシャー付です。
（4ページの **9** 参照）

構成パーツと標準付属品

		ベタ棚（段）		パンチング棚（段）		支柱（本）	ハンドル（本）	ストッパー（個）	ゆるみ止めビス（本）
		ガード付	ガードなし	ガード付	ガードなし				
SUS430	M02型	－	2	－	－	※3 4	1	8	8
	M11型	1	1	－	－			8	8
	M20型	2	－	－	－			8	8
	M03型	－	3	－	－			12	12
	M12型	1	2	－	－			12	12
	M21型	2	1	－	－			12	12
	M30型	3	－	－	－			12	12
	PM02型	－	－	－	2			8	8
	PM11型	－	－	1	1			8	8
	PM20型	－	－	2	－			8	8
	PM03型	－	－	－	3			12	12
	PM12型	－	－	1	2			12	12
	PM21型	－	－	2	1			12	12
	PM30型	－	－	3	－			12	12

		ベタ棚（段）		パンチング棚（段）		支柱（本）	ハンドル（本）	ストッパー（個）	ゆるみ止めビス（本）
		ガード付	ガードなし	ガード付	ガードなし				
SUS304	MN02型	－	2	－	－	※3 4	1	8	8
	MN11型	1	1	－	－			8	8
	MN20型	2	－	－	－			8	8
	MN03型	－	3	－	－			12	12
	MN12型	1	2	－	－			12	12
	MN21型	2	1	－	－			12	12
	MN30型	3	－	－	－			12	12
	PMN02型	－	－	－	2			8	8
	PMN11型	－	－	1	1			8	8
	PMN20型	－	－	2	－			8	8
	PMN03型	－	－	－	3			12	12
	PMN12型	－	－	1	2			12	12
	PMN21型	－	－	2	1			12	12
	PMN30型	－	－	3	－			12	12

※3：支柱の内2本は「ハンドル取付用支柱（ビス／スプリングワッシャー付）」です。

※ストッパーとゆるみ止めビスの入った箱が棚のケースに同梱されています。

ストッパー
ゆるみ止めビス

組み立てかた

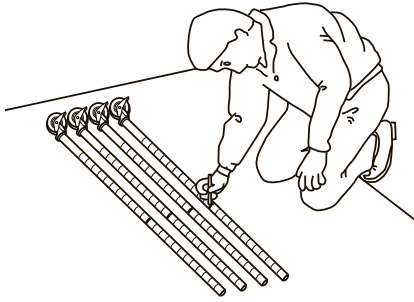
1 構成パーツと標準付属品を確認します。

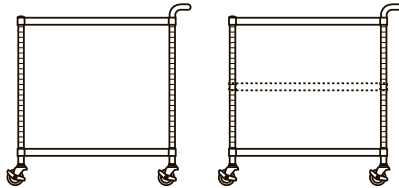
構成パーツと標準付属品がすべてそろっているか、確認してください。（P2の表参照）

※ストッパーとゆるみ止めビスは棚のケースから取り出して、数を確認しておいてください。

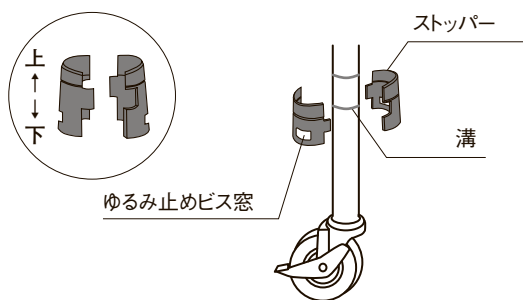
ストッパー　ゆるみ止めビス

2 棚3段仕様の中間棚の取付位置を決めます。

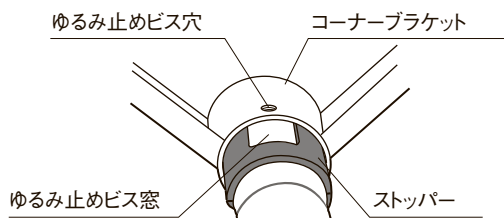
支柱を床に並べて、中間棚の取付位置の溝にサインペンなどで目印を付けておいてください。

※支柱には棚取付用の溝が25㎜ピッチで刻まれています。

※棚2段仕様・棚3段仕様共に、**最上段の棚は一番上の溝**に、**最下段の棚は一番下の溝**に取り付けるようにしてください。

3 支柱にストッパーを取り付けます。

最下段の溝に支柱をはさみ込むようにしてストッパーを取り付けてください。

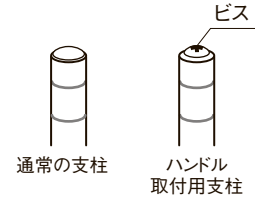
※ストッパーは厚みのある方が完成時に下になるようにして、内側の凸部を溝に確実にはめ込んでください。

上　下　ストッパー　溝　ゆるみ止めビス窓

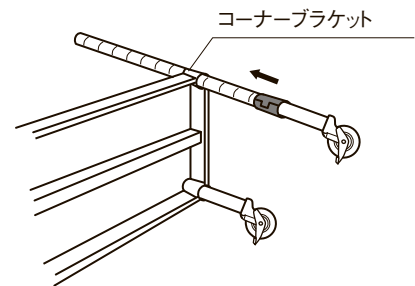
※ストッパーのゆるみ止めビス窓をコーナーブラケットのゆるみ止めビス穴に合わせて取り付けてください。（導電仕様の場合は必ず正確に合わせてください。）

ゆるみ止めビス穴　コーナーブラケット　ゆるみ止めビス窓　ストッパー

4 最下段の棚を取り付けます。

棚を横向きに立て、ストッパーを取り付けた支柱を四隅のコーナーブラケットに挿入してください。

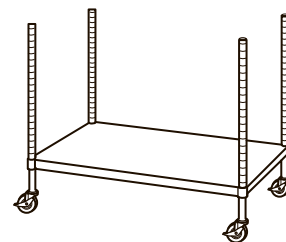
※支柱には、通常の支柱とハンドル取付用支柱の2種類がありますので、支柱の種類と取付位置にご注意ください。

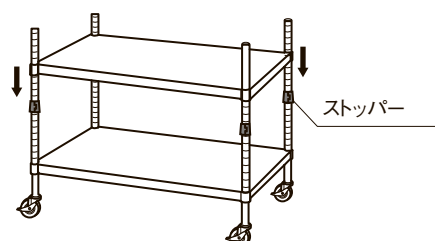
ビス　通常の支柱　ハンドル取付用支柱

※棚の表裏を間違えないようにしてください。

※コーナーブラケットの中にストッパーがしっかりと収まるように押し込んでください。

コーナーブラケット

5 本体を起こします。

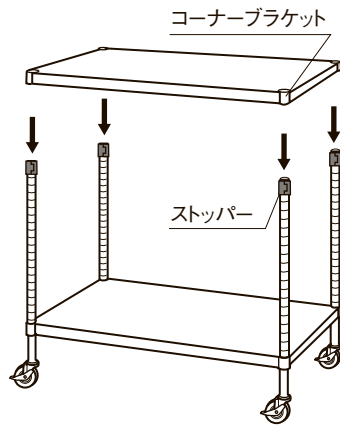
棚の取付各部を再度確認してから、ゆっくりと本体を起こしてください。

※棚と支柱がはずれないようにご注意ください。

6 中間棚を取り付けます。（棚2段仕様は7.に進む）

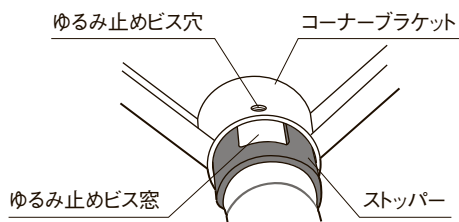
3.と同じ要領で、中間棚の取付位置にストッパーを取り付け、棚のコーナーブラケット部分をストッパーにかぶせるようにして棚を取り付けてください。

ストッパー

組み立てかた

7 上段の棚を取り付けます。

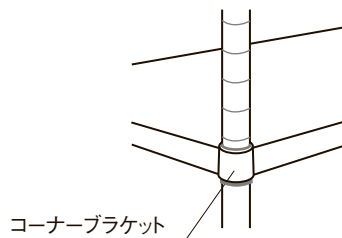
3.と同じ要領で、上段の棚取付位置にストッパーを取り付け、棚のコーナーブラケット部分をストッパーにかぶせるようにして棚を取り付けてください。

コーナーブラケット
ストッパー

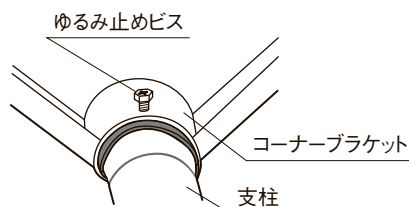
※ストッパーのゆるみ止めビス窓をコーナーブラケットのゆるみ止めビス穴に合わせて取り付けてください。（導電仕様の場合は必ず正確に合わせてください。）

ゆるみ止めビス穴
コーナーブラケット
ゆるみ止めビス窓
ストッパー

8 各部を固定します。

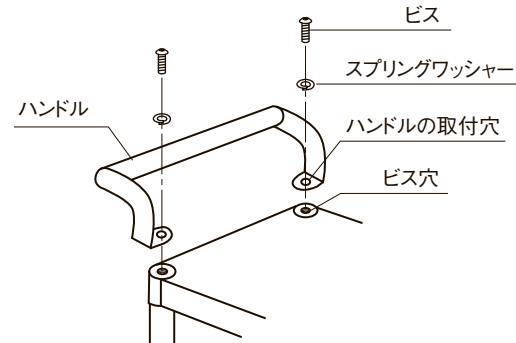
コーナーブラケット部分を上から数回たたいて固定してください。すべての棚の四隅を固定してから、コーナーブラケットの穴にゆるみ止めビスをねじ込んでください。

※必要以上に強くたたかないでください。
また、コーナーブラケット以外の部分は絶対にたたかないでください。傷、破損、変形の原因になります。

コーナーブラケット

※ゆるみ止めビスは、先端が支柱に密着するように、しっかりとねじ込んでください。

ゆるみ止めビス
コーナーブラケット
支柱

9 ハンドルを取り付けます。

ハンドル取付用支柱の先端のビスとスプリングワッシャーを一旦はずしてください。次に、ハンドルの取付穴とビス穴を合わせてから、ビスとスプリングワッシャーでハンドルを取り付けてください。

ビス
スプリングワッシャー
ハンドル
ハンドルの取付穴
ビス穴

10 各部を点検します

※各取付部分に「ずれ」や「ゆるみ」が無いようにしてください。

※支柱は垂直に、棚は水平に取り付けられているようにしてください。

日常の点検

お願い

●ワゴンを使用する前にいつも、必ず点検をしてください。

□各取付部分に「ずれ」や「ゆるみ」がないか?

取付部分に「ずれ」や「ゆるみ」がある場合は、各部を再度固定してください。

□支柱は垂直に、棚は水平に取り付けられているか?

支柱や棚がゆがんだり、ねじれたりしている場合は、垂直水平が正しくなるように組み立て直してください。

□キャスターの車輪の磨耗や動作不良はないか?

キャスターの車輪が磨耗している場合や動作不良がある場合は、危険ですから、キャスターを早急に交換してください。

□製品の汚れはないか?

製品のよごれはすぐに拭き取ってください。
放置するとサビの原因になります。

U2012.8